

- FUKABORI + 参加型 で 地域をデザイン する -

金沢の『メディアの生態系』を考える

東京大学大学院情報学環 水越伸 教授

内容:2020 年代、金沢のメディアはどうなっていくのでしょうか。これまで一般的にメディアとは、新聞や放送などの『マスメディア』を指してきましたが、誰もが発信できる SNS や Youtube 等が普及し、それら全体の相関関係は大きく変化してきています。金沢はメディアを介して『北陸随一の観光とグルメ』のイメージが溢れる一方、住民にとって身近な地域コミュニティの情報は十分に行き交っているとは言いがたい状況になっています。金沢のメディアはどのような生態系であり、今後いかに変化していくのか。来場者とともにディスカッションし、地域をデザインしていくヒントを導き出します。



場所

JAIST 駅前オフィス (ポルテ金沢 9F)
※JR 金沢駅 兼六口(東口)から徒歩 2 分

定員

30 名 参加費：無料。

申込

お名前・ご住所・連絡先をご記入の上、
メールにてお申込みください。

kanazawa-maker@jaist.ac.jp

北陸先端科学技術大学院大学

永井研究室 宛

※当日は名刺を 1 枚お持ちください。

講師プロフィール:水越伸 (みずこし・しん)

東京大学大学院情報学環・教授。

1963 年、三重県生まれ、石川県金沢市育ち。メディアと人間の関わり方を異化し、組み替えていくような実践的メディア論に取り組む。著書に『メディア・ビオトープ：メディアの生態系をデザインする』『メディア論』ほか。

